

平成24年10月16日（火）

森林教室「樹木のタネと、その飛び方を学習」

10月16日（火）、標茶町立久著呂中央小中学校の小学生7人を対象とした森林教室を行いました。

初めに、学校周辺に植えられている樹木のタネについて学習しました。なじみのあるドングリ（ミズナラのタネ）は、リスやネズミなどの小動物の食料として巣の近くまで運ばれて土に埋められ新しく芽が出ることや、イタヤカエデのタネのように、翼があり風力で遠くまで飛ばされて新しく芽を出すなど色々なタネがあることを学びました。

その後、風力で遠くまで飛ぶタネの模型をみんなで作り、タネの飛び方を観察しました。



タネの模型を作る児童を指導している様子